



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会

コープリハビリテーション病院 院長 鍛本真一郎

日本リハビリテーション医学会学術集会(リハ学会)が今年から年2回になりました。

理由は、リハ医学が医師だけでなくリハビリ、看護、介護福祉職など多方面に普及したこと、新専門医制度もこれに合わせて医師の守備範囲が拡大したことです。春季大会(6月、岡山)は本紙8月号で「地域包括ケア」の座長報告として載せました。今秋の大会(10月、大阪)でも同じテーマの座長をしたのでご紹介します。

と老人増加対策です。老人も自立してくれないと困る、何故なら日本は障がい者自立支援、貧困、子育てなど老人以外にも問題山積だから。その全部を国は救済できないから地方の団体や住民が共同してこれというのです。

私が担当したテーマは病院からどうやってもの暮らしに戻ってもらうかの研究報告でした。まとめると、リハビリ対象は脳卒中だけ骨折だけというのは少なく、糖尿病や肺気腫など病気が重複しリハビリ難



リハ学会プログラム「地域包括ケア」の座長を務める筆者

介護就職デイ

あかね・コープリハの働きやすさをアピール

倉敷市の高齢化率は26.2%(2016年)となり増加し続けています。それに反して介護職員数は高齢者数がピークとなる2025年には全国で38万人不足すると言われ深刻な問題となっています。幸いにも当院では介護福祉士の定着率も良く、約7年前より毎年受け入れている新卒介護福祉士の離職はありません。しかし、定年退職・結婚で県外へ転居・病気等によりやむなく退職となったり、産休・育休により介護職員は決して満ち足りていない状況ではありません。



関心を寄せる来場者に説明する筆者(右)

そこで11月9日ハローワーク主催で行われた、求人事業所と求職者をつなぐ機会として「介護就職デイ」に参加してきました。36事業所の

ブースが設けられ、私達のブースには30代から60代の5名の方が来られて熱心に労働内容や条件を訊ねられました。私たち看護師と介護福祉士の3名が働きやすさと福利厚生の手厚さを十分に説明し訴えました。その中のお一人で介護福祉士の方が私達を見て「看護と介護の雰囲気は良く、仲の良いことがわかります」と言ってくれ「そこが自慢です。」と応えました。

介護福祉士の資格を持っている方、資格はなくても経験のある方、介護の仕事に興味のある方、ぜひ見学におこし下さい。お待ちしております。

コープリハビリテーション病院・老健あかね
看護部長 岡本 利恵

認知症、寝たきり予防は 自分たちの手で

倉敷市短期集中健幸アップ教室開催のご案内

短期集中健幸アップ教室(以下・教室)は倉敷市が2017年10月から開始した新規事業で、当院も12月からこの事業を開設します。

教室の対象者は、介護保険で要支援1・2の方と事業対象者(高齢者支援センターが行う事前調査で機能が回復する可能性があると思われる方)となります。頻度は週1回で約6ヶ月(全24回)を1コースとしています。

利用開始時には専門職種が訪問を行い、日常生活上のお困り事や本人が描いている思いなどを聞き取り、この教室で何をするかを一緒に考えていきます。

この教室の特徴は参加者が我々と共に目標を決め、その達成のために何が出来たのかを一緒に考え、活動内容を決める点です。内容は大まかに運動器・栄養改善・口腔機能向上などのプログラムを組み合わせていきますが、参加者により何をするかは異なります。

また、生まれたばかりの教室ですが、期待に添えるように準備を進めて参りましたので、ぜひご利用下さい。



参加者ご自身が教師

短期集中健幸 アップ教室開催

問い合わせ先 医療福祉相談室 田辺
086-444-3212 (代)

受付時間 9:00 ~ 12:00
12:30 ~ 16:30
(土日祝を除く)

コープリハビリテーション病院にてお待ちしております。
コープリハビリテーション病院
リハビリテーション科
理学療法士 佐藤 雅昭
岡野 泰樹

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

岡山県老健協の看護介護研修

講師報告

10月19日に岡山県老人保健施設協会の看護介護研修会に講師としてお話をさせていただきました。参加者は岡山県下の老健施設職員90名。看護・介護職員以外にもリハビリ職員の15名の参加があり、多職種がお互いの専門的な立場から討論する事ができました。

活動が減少する傾向にあります。行える活動が少ない生活は利用者様にとって苦しいものです。しかし見方を変えると、「同世代の方と触れ合う機会が多い」とか「職員による適時適切な活動が減少する傾向にあります。行える活動が少ない生活は利用者様にとって苦しいものです。しかし見方を変えると、「同世代の方と触れ合う機会が多い」とか「職員による適時適切な活動が減少する傾向に



活動能力を引きだすリハビリの「場」づくり (筆者左)

な手助けがある」という点もあります。当老健ではリハビリ職を中心に看護介護職員と協力して活動を提供して、多くの利用者様に活動参加を提供させていただいています。

また、利用者様が退所後には日中家を出て活動参加する通所サービスを利用される方が多くあります。通所サービス利用時はほぼ起きて活動しないといけません。そのため、入所時から日中起きて活動参加することで退所後に上手に通所サービスへ移行することができています。

今後利用者様のさまざまな活動参加を積極的に引き出し、当老健の取り組みを発信していきたいと思っております。

老健あかね
作業療法士
船間 聡

クリスマスコンサート inみづしま

～ようこそ、コープリハビリテーション病院へ～

音楽を通して、まちの皆さんや入院患者さんがゆったりと楽しいひとときを過ごす、交流の機会として開催します。どうぞお気軽にご参加ください。

日時: 12月23日(祝・土) 14:30~15:45

場所: コープリハビリテーション病院 2階理学療法室
(倉敷市水島東千鳥町1-60)

演奏: ムジカくらしき 弦楽四重奏

倉敷音楽団の音楽愛好者を中心に結成した弦楽四重奏です。倉敷音楽団は、倉敷市内を拠点とし、文化都市倉敷にふさわしいクラシックと軽快を持ち、年1回の定期演奏会と、数回の依頼演奏を行っているアマチュアのオーケストラです。

ライフスタイルの話に戻ります。私はNHKの「地球ドラマチック」という番組を毎週見ています。番組の中で動物たちの生き残るための知恵や戦いを知り、毎回、感動しています。この番組を見て、ヒトの祖先も同じようにして生き延びてきたのだらうと思えます。食べ物を確保するため、一日何キロも歩いたり、空腹に耐えたり、知恵を使って身を守るすべを見つたり、暗くなったら眠るという生活を何万年もしてきたのでしよう。しかしヒトはこの100年で生活を便利にしました。食べ物はすぐ手に入り、歩かなくてもよくなりました。そしてライフスタイルを急速に変化させたことで、生活習慣病が増えました。ライフスタイルを見直し生活習慣病を予防し、認知症を予防しましょう。

特集 看護 ④
認知症予防について ③

認知症看護認定看護師
田上 理枝
コープリハビリテーション病院 4階病棟

医療福祉相談室より

2017年10月から、全国の療養病棟に入院されている患者さんの入院費用が高くなりました。国は、介護保険施設では光熱水費がかかることをひきあいに、病院でも光熱水費を患者さんに負担してもらわないといけないと導入しました。これにより、65歳以上の患者さんが月額6,000円

から11,100円の負担増になります。(生活保護、老齢福祉年金、特定難病の方は除く)

さらに、国は、2018年4月から、国民健康保険の都道府県単位化を決めています。現在の国民健康保険の保険者は市町村ですが、県が運営に参入していくようになり、市町村は県

にに対し、納付金を収めるようになり、保険料収納率の向上も求められます。

年金は目減り、医療費も介護費用も負担が増え、生活への不安が増大しています。当院は無料低額診療事業を行っています。

必要な方に必要な制度が届くよう日常の相談活動をしつかり行っていきます。

無料・低額診療制度 のお知らせ

医療費・自己負担
お困りの方
ご相談ください

倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね

必要を感じています。お困りの方はぜひご相談ください。

医療福祉相談・連携室
田上 紀子

○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 8:30~17:00
(土日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ
http://coopreha.jp/
メールアドレス
info@coopreha.jp

広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表						
コープリハビリテーション病院 [086-444-3212]				老健あかね [086-446-6541]		
診療時間	内科	歯科	短時間 通所 リハビリ	短時間 集中 アップ 教室	訪問 リハビリ	通所 リハビリ
	午前 9:00~ 12:30	午後	9:00~ 16:50	9:30~ 11:30		9:00~ 16:00
月			○		○	○
火	○	○	○		○	○
水	○		○		○	○
木	○	○	○		○	○
金	○		○		○	○
土				○		○

医療福祉相談・連携室		
相談時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日・祭日	休み

の番組を見て、ヒトの祖先も同じようにして生き延びてきたのだらうと思えます。食べ物を確保するため、一日何キロも歩いたり、空腹に耐えたり、知恵を使って身を守るすべを見つたり、暗くなったら眠るという生活を何万年もしてきたのでしよう。しかしヒトはこの100年で生活を便利にしました。食べ物はすぐ手に入り、歩かなくてもよくなりました。そしてライフスタイルを急速に変化させたことで、生活習慣病が増えました。ライフスタイルを見直し生活習慣病を予防し、認知症を予防しましょう。

新入職員紹介

老健あかね
通所リハビリ 介護士
石井加奈恵

コープリハビリテーション病院
事務課 事務
岩崎 和枝

コープリハビリテーション病院
事務課 事務
流尾 早織

コープリハビリテーション病院
3階病棟 介護福祉士
今田 好美

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。